

HELIX LT CHEAT SHEET

SAVE
SAVE 2度押しでプリセットを上書き保存できます

☰
メニューボタン
本体の設定画面に入れます

📁
Amp + Cab, AMP, Pre-ampの調整画面を表示します

Joystick
ブロックの選択に使用します
また、ACTIONを押すことで、Blockを動かすことができます

🔄
回すことでブロックのモデルを選択できます
👆
押すことでモデルリストが表示されます

BYPASS
押すことでブロックのOn/Offが切り替えられます
長押しすることでGlobalEQのOn/Offを切り替えられます

ACTION
押すことでACTION Panelが表示されます
ブロックのコピー削除も行えます

◀ PAGE ▶
選択したブロックが1画面でパラメータの表示ができない場合にページを切り替えられます

VOLUME
このつまみを回すことで、1/4, XLR, Phones, Digital, USB1/2アウトの音量調整が行えます

PRESET

🔄
回すことでプリセットを変更できます
👆
押すことでSetlist画面を表示します

🏠
押すことでHOME画面に戻ります
押す度にシグナルフローとパフォーマンス画面を切り替えます

Knobs 1-6

🔄
回すことでパラメータ調整できます
👆
Press to engage function
押すことでパラメータの数値がリセットされます
また、秒、音符、Hzの切り替えも行えます
長押しすることでそのパラメータをコントローラーアサイン画面で設定できます

👆
押しながら回すことでSnapshotにそのパラメータ変更を設定できます

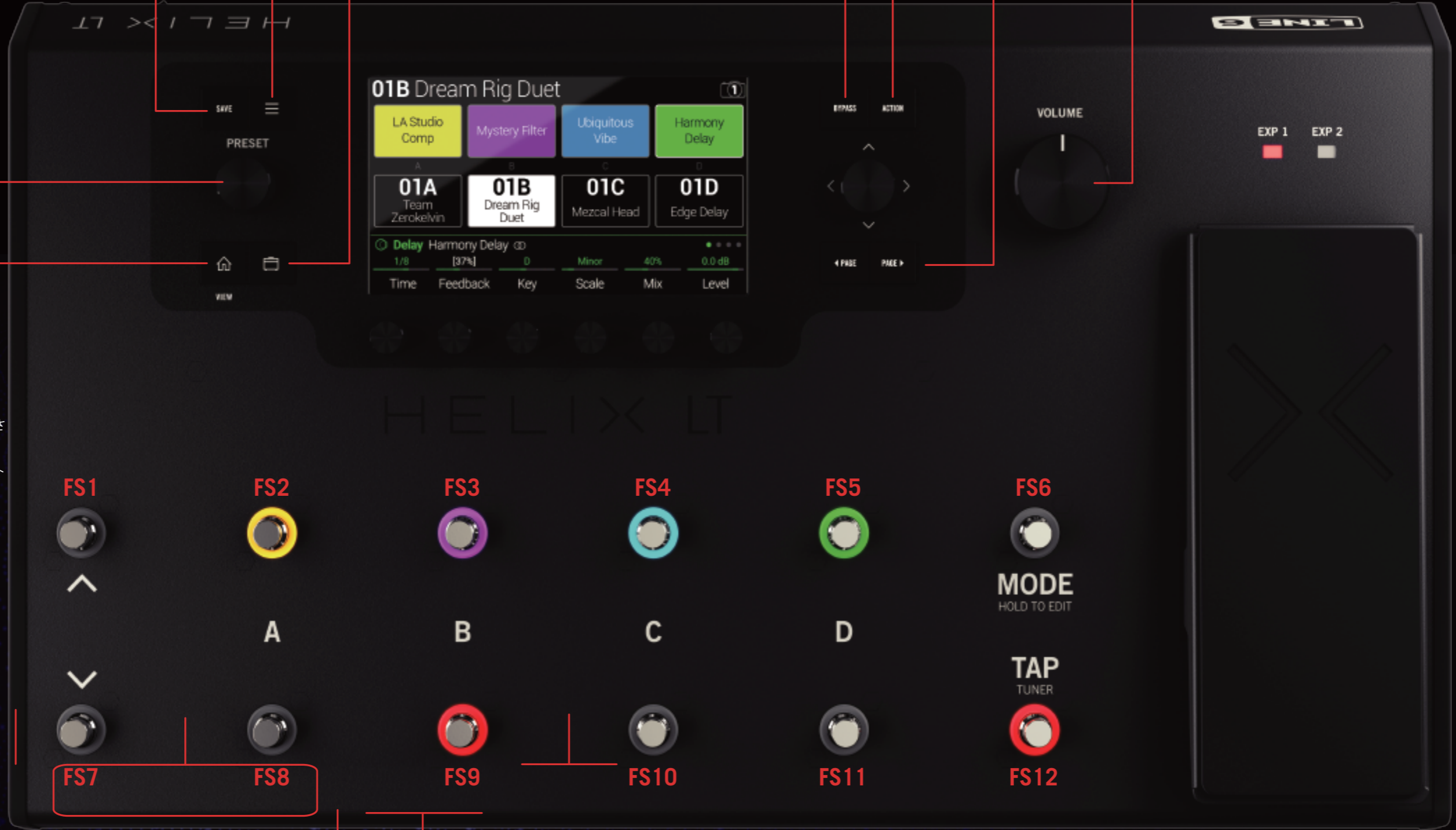
👆
BYPASSボタンを押しながらノブを押すことで、コントローラー設定を解除できます

Up/Down

👆
FS1とFS7を使用してBANK切り替えを行えます

👆
FS1とFS7を同時に押すことでSnapshotモードに入れます

👆
FS1とFS7を同時に長押しすることで、変更するものをBANK、Preset、Snapshotから選択できます



Preset Footswitch Mode

プリセットが選択できます

Stomp Footswitch Mode

👆
アサインされたブロックのOn/Offが切り替えられます
👆
2秒触るだけでブロックをフットスイッチにアサインできます
同じスイッチに複数のBlockを設定できます
スイッチを触るだけでアサインされたブロックの設定画面を呼び出せます
👆
2つのスイッチを同時に2秒以上触るとフットスイッチの内容を交換できます

MODE

👆
FS6を押すとPresetモードとSTOMPモードの切り替えが行えます
👆
REVISIONS
FS6を長押しすることでペダルエディットモードを呼び出せます
足だけで音色の調整が可能!

TAP/TUNER

👆
何度か押すことでテンポ設定ができます
👆
長押しするとチューナーが使用できます
👆
触るだけでテンポ設定画面を呼び出せます

Expression Pedal 1 (and 2)

👆
エクスペッションペダルを使用することで、VolumeやWah、またアサインされたアンプやエフェクトのパラメータのコントロールが可能です
👆
強く踏み込んでToeスイッチを使用することでEXP1とEXP2の切り替えが可能です

インプット・ブロックを選択し、ジョイスティックを回してインプットのソースを選択してください。各パスには1つまたは2つのインプット・ブロックを使用できます。

ブロック（白くアウトラインされています）を選択するには、ジョイスティックを使用するかアサインしたフットスイッチの上部をタッチしてください。

ブロックのマージ（選択されている場合のみ表示）を下へ動かすとアウトプットブロックを複製します。

ブロックをオン/オフするにはBYPASSを押して下さい（バイパスされたブロックは薄暗く表示されます）

グローバルEQをオン/オフするにはBYPASSを長押ししてください（グローバルEQがオンの場合アイコンが表示されます）。

PRESETSとノブ5を同時に押すことでスナップショットを選択できます。（1プリセットにつき最大使用8）

アウトプット・ブロックを選択し、ジョイスティックを回して、信号をバックパネルの出力、パス2、またはコンピューターにUSB経由でルーティングして下さい。各パスには2つのアウトプット・ブロックが使用できます。

選択されているブロックのパラメータをさらに見るには、◀PAGE/PAGE▶を押してください。このブロックには4ページあるという表示になっています

数値が白文字で括弧つきで表示されている場合はそのパラメータにコントローラーがアサインされています。

1-6のノブを回すことで選択したブロックのパラメータを調整できます。また、ノブを押すことで初期設定の値に戻すことができます。

INPUT BLOCKS

- None (Path 2 only)
- Multi (Guitar, Variax)
- Guitar
- Variax
- Variax Magnetics
- Return 1, 2, 1/2
- USB 3/4, 5/6, 7/8

PROCESSING BLOCKS

- None
- Distortion
- Dynamics
- EQ
- Modulation
- Delay
- Reverb
- Pitch/Synth
- Filter
- Wah
- Amp+Cab
- Amp
- Preamp
- Cab
- Impulse Response
- Volume/Pan
- Send/Return
- Looper

OUTPUT BLOCKS

- Multi (1/4", XLR, Digital, USB 1/2)
- Path 2A, 2B, 2A+B (Path 1 only)
- 1/4"
- XLR
- Send 1/2
- Digital (AES/EBU or L6 LINK)
- USB 1/2, 3/4, 5/6

Guitar In

GuitarやBassを接続する端子です。設定でPadの使用やインピーダンスの切り替えができます。

Sends>Returns

外部エフェクター等を使用するための端子です。モノ/ステレオで使用したり端子ごとにレベルの切り替えも可能です。(Line/instrument) また、追加の入出力としてキーボードやミキサー、ドラムマシンなどの音源を接続して使用することもできます。

1/4" Outs

フォンの出力端子です。ギターアンプや外部エフェクターなどのギターシステムとの接続や、パワードスピーカーなどの外部機器との接続が行えます。設定画面からレベル切り替えも行えます。ギターアンプに接続する際はInstrumentに設定して下さい。

Variax Input

専用ケーブルでVariaxと接続することで、音声転送やコントロール、プリセットの変更が行えます。Helix LTのインプット・ブロックでVariaxの設定が可能です。

AES/EBU | L6 LINK Out

110-ohm AES/EBU(XLR)ケーブルを使用することで、スタジオ機材などとデジタル接続ができます。また、L6 LINKを使用することでStageSourceやDTシリーズと音声転送やコントロールがHelix LTから行えます。

HELIX LT CHEAT SHEET



Power
電源スイッチ

AC In
Helix LTをグラウンドされたAC電源コンセントに接続してください。

EXP PEDAL 2/EXT AMP

エクスプレッションペダルを1台追加できます。もしくは、外部アンプのチャンネルやリバーブのOn/Offの切り替え用の端子としても使用できます。TRSケーブルを使用してください(1=tip, 2=ring)

Ground Lift Switch

「ブーン」というような電氣的なノイズが出てしまう場合は、このボタンを押して機材間のグラウンドループを排除してください。

XLR Outs

スタジオモニターやミキサー、パワードスピーカーなどにバランス接続するための端子です。モノで使用する際はLeftのみにケーブルを接続してください。

Phones Out

ヘッドホン端子です。トップパネルのVolumeで音量を調節できます。

MIDI In, Out/Thru

Helix LTをMIDI機器と接続することで、プログラムチェンジや様々なコントロール、MIDIメッセージの送受信が可能です。

USB

Helix LTは8-in/8outのオーディオインターフェイスとして使用できます。(24bit/96kHz Mac/PC) リアンプでの使用やMIDIメッセージの送受信も可能です。また、スマートフォンやタブレットと接続することで、録音や再生も可能です。